

## 平成 23 年度第 1 回 環境振動制御技術小委員会議事録（案）

A. 日時 2011 年 5 月 19 日（木） 17:00～19:00

B. 場所 建築会館 会議室

C. 出席者

鈴木主査、他 8 名

D. 提出資料

No.1-1 平成 23 年度第 1 回環境振動制御技術小委員会議事次第

No.1-2 境振動制御技術小委員会メンバーリスト

No.1-3 平成 22 年度第 5 回環境振動制御技術小委員会議事録（案）

No.1-4 環境振動運営委員会（1/18 開催）議事録（案）

No.1-5 環境工学委員会としての災害対応に関するメール

No.1-6 振動解析モデル検討の進め方について

No.1-7 振動の知覚と人体への影響

No.1-8 「大震災調査復興支援に関わる常置研究委員会の活動とお考え」について

E. 審議事項

1. 新任委員紹介

- ・ 新任委員の方から自己紹介をいただいた。
- ・ 資料 No.1-2 のメンバーリストの確認。修正がある場合は、主査へ連絡をする。

2. 前回議事録：承認

3. 環境振動運営委員会報告

- ・ 資料 1-4 について主査から報告があった。

4. 環境工学本委員会直轄 WG について

- ・ 資料 1-5 について主査から報告があった。

5. 振動解析モデル検討（ブラインド解析）の進め方について

- ・ 各委員からの意見をまとめた資料 1-6 をもとに議論した。
- ・ 進めていく方向性、内容、精度の考え方などについて意見を出し合い、以下のような方向で進めていくこととした。

<まとめの目標>

- ・ 床振動解析のためのモデル化において、どのような条件設定にすればよいかを示す。
- ・ 実務上の解析モデル作成ノウハウを公開する。

<進め方>

- ・ 予測解析班と文献調査班で作業を進めていく。

（予測解析班）

- ・ 簡易なモデルでのモデル化手法による解析結果の変化について引き続きパラメータスタディを進

めるが、一旦休止して「実測結果に合わせる解析」を行って各解析担当者の実務上の解析ノウハウを出し合う。

- ・ 「実測結果に合わせる解析」はブラインド解析Ⅱの事例（砂袋落下、歩行）に対して、実測値に解析結果を合わせるために境界条件や材料定数、加振力などを適宜調整したモデル化を行い、結果を持ち寄る。闇雲に数値を変えるのではなく、どのような考えのもとに調整したか説明できるようにする。
- ・ まずは固有振動数を合わせる。
- ・ 固有振動数の予測精度は、1/3 オクターブバンドの1バンド内に納まればよしとする。
- ・ 最終的な歩行振動時の居住性能評価結果は上下1ランクの範囲に納まればよしとする。

（文献調査班）

- ・ 文献調査班は、床振動の実測事例や解析条件のわかる文献を調べる。
- ・ 調査結果からパラメータスタディの条件設定を検討する。

#### 6. 「大震災調査復興支援に関わる常置研究委員会の活動とお考え」について

- ・ 資料 1-7,1-8 について主査から報告があった。
- ・ 環境振動運営委員会として行動の難易度や家具類などの挙動を含む、地震時の建物の揺れに対する居住性評価を検討していく。

F. 次回の予定：7月27日（水）17:00～19:00

以上